

2023 年度事業報告書

〔 自 2023 年 4 月 1 日
至 2024 年 3 月 31 日 〕

2024 年 5 月 23 日
一般社団法人 日本チタン協会

1. 日本のチタン産業

- ・2023年度は航空機向けおよび一般産業向け共にコロナ禍からの需要回復が鮮明となり、またロシアのウクライナ侵攻以降世界的なサプライチェーンの再構築によってタイト感が増した。一方で中国経済の減速等不透明感もあり先行きは見通し難くなったものの、足下では需給の引き締まった状況の継続が見られた。
- ・スポンジチタンの出荷実績については、2023年4～12月（43,332ト）の期間はコロナ禍前の2019年度（61,893ト）以来の高レベルで推移した。背景には航空機および一般産業向け需要回復とロシアからの代替需要に依るところが大きい。特に航空機向けは年率5%程度の成長が期待され、当面底堅い需要が見込まれる上、地政学リスクの顕在化によって、日本のスポンジメーカーの存在感は更に増した。また、課題となっていたスポンジ生産能力の増強についても具体的な検討が進められた。

表 1. スポンジチタン出荷量推移

(単位：ト)

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年4～12月
出荷量	61,893	26,844	48,333	56,978	43,332

- ・チタン展伸材の出荷実績については、2023年度（12,961ト）と前年度比で約12%減となった。日本が得意とするPHE（板式熱交）や電解用途を中心に旺盛な需要環境が継続していたものの下期に入り出荷ペースが鈍化、とりわけ輸出向けの減が影響してコロナ禍以前の水準に復する前に需要が踊り場を迎えた可能性も否定出来ない。また、安価な中国材の台頭もあって、一般産業用純チタンについては今後予断を許さない状況の到来を懸念する向きもあり、動向をより注視する必要があると見られる。

表 2. チタン展伸材出荷量推移

(単位：ト)

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
出荷量	15,871	11,098	12,187	14,788	12,961

- ・ロシアのウクライナ侵攻の長期化、中東情勢の緊迫化で世界が混迷と言う長いトンネルに入りつつあることを実感し、チタン業界にも影響をもたらした1年であったことも付記する。

2. 各委員会の主な活動実績

2.1 TKK（チタン協会開発会議幹事会）

- ・4回/年開催し、協会の技術関連活動の情報共有の場として活動を実施
- ・2024年度「チタン需要開拓助成事業」審査で2社を選考
- ・当該幹事会は当初設置した目的と活動内容が乖離したため2023年度末で廃止
(2024年3月25日 第342回理事会にて承認)

2.2 表彰審査委員会

- ・2023年度協会表彰として技術賞3名、協会事業功労賞2名、永年技術功労賞5名、賛助会員功労賞1社を選考

2.3 開発会議

- ・啓発活動として中学校理科副読本1万部の配布継続
- (1)海淡・環境部会
 - ・活動休止中（組織見直しを検討中）
- (2)船舶・建設・海洋部会
 - ①船舶WG
 - ・（国研）海上技術安全研究所との連携継続
 - ②建設WG
 - ・活動休止中（組織見直しを検討中）
- (3)医療部会
 - ・「医療用チタンガイドブック」を活用した啓発・需要拡大活動
 - ・各展示会へ出展し医療用チタン材のPR活動実施（ヘルスケア・医療機器 開発展 MEDIX（6月）、高機能金属展（大阪5月、東京10月））
- (4)賛助会員部会
 - ・「市場開発・製品開発スタッフ養成講座」の開催（東京6月）
 - ・賛助会員総会開催（東京7、2月）、初の試みとして講演会をWeb配信実施
 - ①ファスナーWG
 - ・高強度チタン合金製ファスナー規格化推進（日本ねじ研究協会との連携）
 - ・各展示会へ出展しファスナー用チタン材のPR活動実施（軽量化技術展Nプラス（9月）、高機能金属展（大阪5月、東京10月））
 - ②福祉・医療WG
 - ・理美容向けチタン製ハサミのモニタリング、陽極酸化抗菌評価の継続、義肢装具へのチタン適用検討
 - ③西日本支部
 - ・西日本地区の賛助会員の交流支援、西日本支部総会開催（尼崎9月、1月）、初の試みとして講演のWeb配信実施

2.4 業務委員会

- ・総会および理事会の議案検討、会員異動審査
- ・米国チタン協会（ITA）年次総会向け会長プレゼン資料の検討
- ・関係官庁や関係団体との連携、通商課題の共有

2.5 編集委員会

- ・協会活動やチタンに関わる情報を閲覧できる協会機関誌「チタン」の4回/年発刊
- ・各委員会、分科会やWG活動および協会行事を適時紹介

2.6 環境委員会

(1) 環境安全分科会

- ・安全衛生に関する安全交流会を実施
- ・日本酸化チタン工業会との連携によるチタン廃棄物放射線規制適正化活動

(2) カーボンニュートラル分科会

- ・2023年3月に取得したチタン製造におけるPCR(Product Category Rule)を使用し、チタン展伸材製造時のCO₂排出量を試算

2.7 技術委員会

- ・チタン規格 JIS、ISO 標準化推進
- ・第15回学生向け工場見学会とセミナー(9月)および第28回チタン講習会(11月)の実施

(1) 材料分科会

- ・ISO規格化およびISO規格定期見直しとASTM改定への対応

(2) 耐食性分科会

- ・耐食性に関わる課題個別対応

(3) 非破壊検査分科会

- ・非破壊検査に関わる課題個別対応

(4) 分析分科会

- ・ISO規格化に向けた原案を作成(Ti64の蛍光X線分析、国際共同実験の実施)

(5) 溶接分科会

- ・溶接に関わる課題個別対応

(6) 規格調整委員会

- ・ASTM材料規格に関する活動は材料分科会に委託

2.8 ISO/TC79/SC11 国内対策委員会

- ・ISO規格化に向けた原案作成と国際会議の開催、出席(10月フランス開催)

2.9 産学連携委員会

- ・2024年度「チタン研究助成制度」の審査で3名を選考
- ・チタン学会との連携(6月教育講演、11月講演大会)
- ・日本機械学会hcp分科会への参画および軽金属学会との連携

2.10 協会事務局

- ・委員会等現下の状況に見合った組織の改正に着手
- ・業務効率化、経費節減への取り組み

3. 会員

3.1 会員数(2024年3月末時点)

正会員 16社、賛助会員(法人) 162社、賛助会員(個人) 31名
cf. 2023年3月末時点

正会員 15社、賛助会員(法人) 161社、賛助会員(個人) 32名

3.2 会員の異動

(1) 正会員の異動(理事会承認)

2023年5月 日鉄物産株式会社(正会員4級→正会員2級)
阪和興業株式会社(賛助会員→正会員2級)

(2) 賛助会員の入会（理事会承認）

2023年11月 株式会社 JALUX
岡谷鋼機株式会社
2024年3月 株式会社カンテック
中央ばね工業株式会社

(3) 賛助会員の退会（理事会報告）

2023年5月 浅井産業株式会社
株式会社 JP TIGHT
2023年11月 アイコクアルファ株式会社

4. 役員

4.1 2023年度役員（敬称略、所属・役職は当時）

理事（会長）	山尾 康二	東邦チタニウム(株) 代表取締役社長
理事（副会長）	加藤 丈晴	(株)神戸製鋼所 執行役員
理事（副会長）	寺井 健	日本製鉄(株) 参与チタン事業部長
理事（副会長）	高田 雅章	神鋼商事(株) 常務執行役員 鉄鋼本部副本部長
理事	杉崎 康昭	(株)大阪チタニウムテクノロジーズ 代表取締役社長
理事	高宮 伸	大同特殊鋼(株) 執行役員 鋼材営業本部副本部長
理事	内宮 直樹	三井物産メタルズ(株) 執行役員
理事	大槻 智之	住商メタレックス(株) 理事 高機能・テクノロジー事業部長
理事	都築 博幸	アルコニックス(株) 執行役員 軽金属・銅製品・チタン本部長
理事	寺田 純	日鉄物産(株) 取締役常務執行役員
理事	松原 圭司	阪和興業(株) 取締役常務執行役員
理事	百野 修	JX 金属(株) 常務執行役員
専務理事	村上 仁	(一社) 日本チタン協会 事務局長
監事	永嶋 英雄	伊藤忠メタルズ(株) 執行役員
監事	小武 卓見	伊藤忠丸紅鉄鋼(株) 執行役員 鋼材第三本部長

5. 会議

5.1 総会

(1) 2023年度通常総会（2023年5月25日開催）

正会員16社全社（委任状3社含む）が出席し、以下の議案を審議の上、承認した。

- 第1号議案 2022年度事業報告および決算の承認
- 第2号議案 理事・監事の選任

5.2 理事会

(1) 第338回理事会（2023年5月25日開催）

理事11名のうち8名、監事2名が出席し、以下の議案を審議の上、承認した。

- 第1号議案 2022年度事業報告および決算の承認
- 第2号議案 会員異動の承認

(2)第 339 回理事会 (2023 年 5 月 25 日開催)

理事 11 名の内 8 名、監事 2 名が出席し、以下の議案を審議の上、承認した。

第 1 号議案 会長・副会長・専務理事・運営委員会委員の選任

第 2 号議案 委員会委員長委嘱の承認

第 3 号議案 コンサルタント委嘱の承認

第 4 号議案 2023 年度臨時総会の招集

(3)第 340 回理事会 (2023 年 9 月 5 日 定款第 29 条 2 項に基づき書面審議)

第 1 号議案 2023 年度事協会表彰者の決定

(4)第 341 回理事会 (2023 年 11 月 22 日開催)

理事 13 名の内 8 名、監事 2 名の内 1 名が出席し、以下の議案を審議の上、承認した。

第 1 号議案 2023 年度補正予算案の承認

第 2 号議案 入会の承認

(5)第 342 回理事会 (2024 年 3 月 25 日開催)

理事 13 名の内 10 名、監事 2 名の内 1 名が出席し、以下の議案を審議の上、承認した。

第 1 号議案 2024 年度事業計画および一般会計収支予算案の承認

第 2 号議案 組織改正 (廃止) の承認

第 3 号議案 委員長委嘱の承認

第 4 号議案 賛助会員入会の承認

第 5 号議案 2023 年度通常総会の招集

事業報告の付属明細書

2023 年度事業報告には「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款 33 条 (2)に規定する事業報告の付属説明書は作成しない。

以上